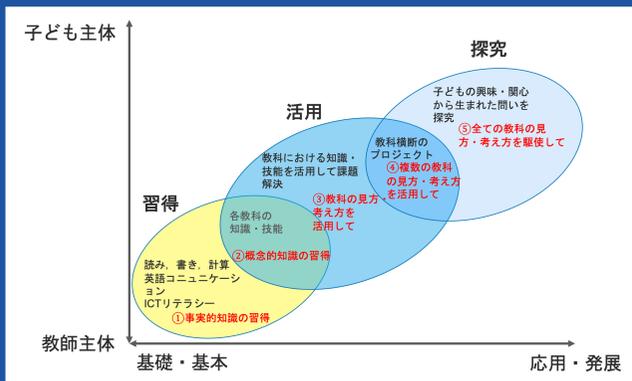


本校の研究の取り組み

本校は、2021年4月に開校した株式会社立の小学校です。本校の建学の精神は、「グローバルシチズンシップの育成」です。それは、世界の抱える問題を自分の問題として捉え直し、多様な立場の人々と協働して、よりよく解決するための方法を考え、持続可能な社会を創るために自ら行動する世界のリーダーとしての志を意味しています。世界の中で日本語や英語などの言語を駆使して多様な立場の人々と議論し合い、自らの意思によって持続可能な世界を築き上げていける人材を育てていくために、カリキュラムの開発に着手しています。

本校では「習得」―「活用」―「探究」という3つの学びの場を設定しています。「習得」は、知識の習得を確実にを行うことをねらいとした授業です。ドリル型のアプリ、考える技、情報、各教科などの授業を15分～45分の時間設定で実施します。「活用」は、習得した知識を教科横断的な文脈で活用できることをねらいとした授業です。単一教科あるいは教科横断のプロジェクト学習で、45分、90分の時間設定で実施します。「探究」は、子ども自身の興味に応じた課題解決を通してこれからの社会に必要な資質・能力を育成することをねらいとした90分の授業で、子どもたちが主体的・創造的な学びを展開します。今年度の研究は、『教科横断のプロジェクト学習や探究学習が、教科で習得した知識・技能を確実に発揮する場になるようになる「習得」学習の授業作り』の実践研究に取り組みます。研究発表会では、プロジェクトや探究の授業を主軸に公開します。開校してまだ半年の学校が、実践研究に着手したばかりですが、授業での子どもの姿から、私たちのカリキュラムに対して、皆さんからご意見やアドバイスをいただき、議論を通じて成長できる場になりたいと思います。多数の方々参加をお待ちしております。



瀬戸SOLAN小学校 第1回研究発表会



研究主題

「習得－活用－探究」の 3つの学びが相互に作用する 授業の創造

～英語・ICT・教科から授業を考える～

開催日 : 2022年1月29日 (土)
会場 : 瀬戸SOLAN小学校
〒489-0054 愛知県瀬戸市道泉町76-1
Tel.0561-56-2345

アクセス : 名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅 徒歩10分
後援 : 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、瀬戸市教育委員会 (申請中)

参加対象者 : 教育関係者

参加費 : 2500円 (資料、昼食代含む)

申込方法 : 第2次案内でご案内いたします。

※コロナ感染症の状況によりオンライン開催になる可能性があります。

研究発表プログラム

2022年1月29日 (土)

受付 8:30~

公開授業

情報・書くスキル・考える技など 9:10~9:40

※第二次案内で詳細をお知らせいたします。

活用・探究の学習 9:50~10:50

分科会 11:10~12:20

全体会 13:10~13:30

パネルディスカッション「未来の教育を考える」(仮)
13:30~15:30

閉会行事 15:30~15:45

パネルディスカッション登壇者

泰山 裕 鳴門教育大学准教授

専門分野: 教育工学・授業設計・情報教育
主な活動: 情報活用能力調査の今後の在り方に関する調査調査枠組等委員会委員、次世代の教育情報化推進事業 企画検証委員、学習科学のアプローチによる全国学力・学習状況調査「教科に関する調査」の質的向上に関する分析検証委員



主な著書: 教育目標をデザインする-授業設計のための新しい分類体系- 黒上晴夫、泰山裕、北大路書房 2013年9月 (共訳)、教育委員会・学校管理職のためのカリキュラム・マネジメント実現への戦略と実践、村川雅弘、吉富芳正、田村知子、泰山裕、ぎょうせい 2020年4月 (編著)、教育の方法と技術 ミネルヴァ書房 2019年2月 (分担執筆)

稲垣 忠 東北学院大学文学部教授 (学長特別補佐)

専門分野: 教育工学・授業設計・情報教育
主な活動: 文部科学省 情報活用能力調査、事業企画推進委員、学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業 副査、初等中等教育段階のSINET活用実証研究事業 委員、経済産業省 未来の教室実証事業教育 コーチ、産業構造審議会教育イノベーション小委員会 委員



主な書籍: 稲垣忠編(2019)「教育の方法と技術～主体的・対話的で深い学びをつくるインストラクショナルデザイン」(北大路書房)、稲垣忠編(2020)「探究する学びをデザインする! 情報活用型プロジェクト学習ガイドブック」、稲垣忠編訳A.コリンズ&R.ハルバーソン著 (2020) デジタル社会の学びのかたち Ver.2 (北大路書房)